

施策	施策名
223	子育て環境の整備

子どもを安心して生み育てられ、子どもが健やかに成長できる環境を整えます。

保育所の入所待機児童の解消を図るため、延長保育や低年齢児保育事業等の特別保育事業を推進してきました。また、放課後児童対策を推進し、放課後児童クラブの実施数の増加を図り、さらに、「みえこども家庭健康センター（仮称）」の具体的な機能について「基本指針」を策定しました。児童虐待対策として7地域生活創造圏に地域虐待防止会議を設置し、周産期医療体制の整備については、協議会の設置、関係者の研修を行っています。

平成12年度においては、新たに、中長期的な視点から、少子化・高齢化がもたらす影響について広範な調査研究を行うとともに、少子社会への認識を高めるためNPOを主体としたフォーラムの設置や、児童虐待対策として、児童相談所への児童虐待対応協力員の配置に努めます。また、子どもに関する相談機能として、「みえこども家庭健康センター（仮称）」において総合電話相談を引き続き実施するほか、聴覚障害児等の療育支援体制整備に努めます。

主な事業

- 1 (新)少子高齢社会調査研究事業 (予算額 24,214 (24,214)千円)
 【(101)みえ子ども未来プランの総合推進事業】〔総合企画局〕
 中長期的な視点から少子化・高齢化の推移、少子・高齢化がもたらす経済的・社会的影響、地方行財政への影響及びその背景・要因を調査することにより、少子化・高齢化に対する課題抽出と新たな政策展開方向を検討します。
- 2 (新)少子社会を考える県民フォーラム事業 (予算額 4,738 (4,738)千円)
 【(101)みえ子ども未来プランの総合推進事業】〔健康福祉部〕
 平成11年度実施の実態調査を踏まえ、施策の方向性について県民と協働して検討するため、NPOが主体となって企画・運営を行う県民フォーラムを設置します。
- 3 みえこどもの城の機能再構築事業 (予算額 8,190 (0)千円)
 【(101)みえ子ども未来プランの総合推進事業】〔健康福祉部〕
 平成10年度にまとめた「みえこどもの城再整備検討報告書」及び平成11年度に実施した「児童健全育成に関するアンケート調査」結果に基づき、みえこどもの城のあり方を整理し、本来の機能の再構築を図ります。
- 4 (新)児童虐待対応協力員配置事業 (予算額 8,415 (5,214)千円)
 【(301)子育て相談支援の充実事業】〔健康福祉部〕
 児童相談所の対応強化のため、児童福祉司に協力して児童虐待に関する調査、関係機関との連絡調整を行う児童虐待対応協力員の配置を行います。
- 5 (新)みえこども家庭健康センター聴覚障害児療育支援事業 (予算額 11,889 (0)千円)
 【(301)子育て相談支援の充実事業】〔健康福祉部〕
 「みえこども家庭健康センター（仮称）」事業の一環として、聴覚障害児の療育支援体制の整備を行います。

《関連する施策名》

- 1 1 3 男女共同参画社会の実現
- 1 2 2 学校教育の充実
- 4 4 1 働く場の確保と勤労者生活の支援